

2025年3月期 決算補足説明資料

林兼産業株式会社

2025年5月15日

目次

2025年3月期実績	
連結損益計算書の概要	・・・ 2
セグメント別の売上高・営業利益	・・・ 3
連結貸借対照表の概要	・・・ 4
連結キャッシュ・フロー計算書の概要	・・・ 5
業績の推移	・・・ 6
四半期連結業績の推移	・・・ 7
セグメントの状況	・・・ 8-11
連結損益計算書	・・・ 12
売上高・利益計画	・・・ 13
配当の状況	・・・ 14
Hayashikane「ブランドパーパス」と「行動指針」について	・・・ 15

連結損益計算書の概要

おいさを
生きるちからに。

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期			
		実績	前年増減	当初計画	当初計画増減
売上高	47,376	49,267	1,891	46,000	3,267
営業利益	698	1,076	377	700	376
経常利益	913	1,363	450	900	463
親会社株主に帰属 する当期純利益	749	1,055	306	650	405

前期との主な変動要因

売上高	原材料価格やエネルギーコストの高騰に対応するために行った価格改定、 および養魚用飼料の販売数量増加などにより増収
営業利益	養魚用飼料の販売数量増加などにより増益
経常利益	営業利益の増加により増益
親会社株主に帰属 する当期純利益	政策保有株式の縮減に伴う投資有価証券売却益もあり増益

セグメント別の売上高・営業利益

おいさを
生きるちからに。

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期			
		実績	前年増減	当初計画	当初計画増減
売上高	47,376	49,267	1,891	46,000	3,267
食品事業	22,566	22,399	▲167	21,230	1,169
飼料事業	24,767	26,830	2,062	24,730	2,100
その他の事業	42	38	▲3	40	▲1
営業利益	698	1,076	377	700	376
食品事業	802	463	▲339	930	▲466
飼料事業	938	1,661	723	920	741
その他の事業	32	27	▲5	30	▲2
消去又は全社	▲1,075	▲1,076	▲1	▲1,180	103

連結貸借対照表の概要

おいさをい
生きるちからに。

(単位：百万円)

		2024年3月期末	2025年3月期末	
				前年増減
	流動資産	15,666	15,325	▲340
	固定資産	13,377	12,307	▲1,070
資産合計		29,043	27,632	▲1,411
	流動負債	12,878	10,665	▲2,212
	固定負債	5,072	5,175	103
負債合計		17,950	15,841	▲2,109
純資産合計		11,093	11,791	698
負債純資産合計		29,043	27,632	▲1,411

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

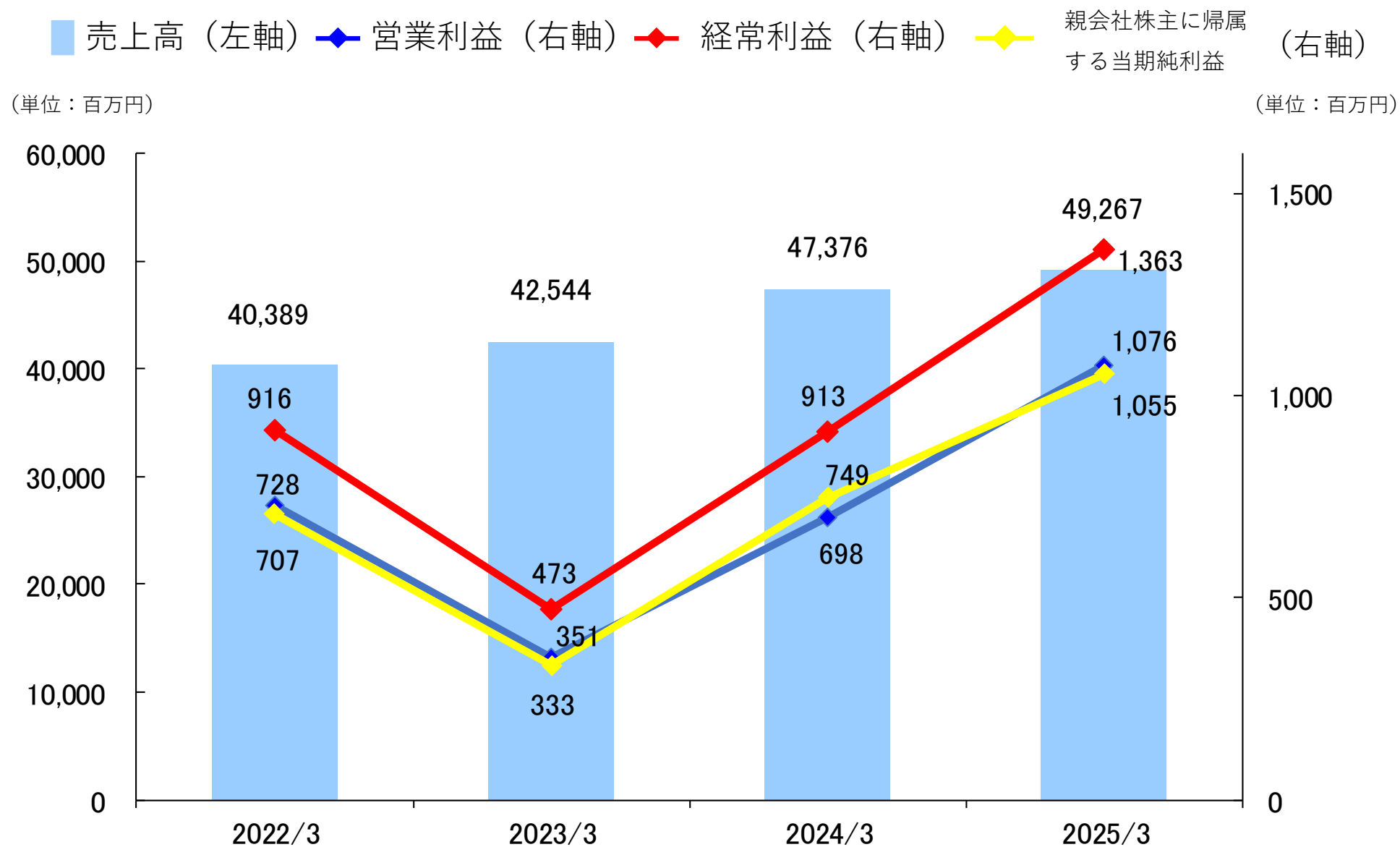
おいさを
生きるちからに。

(単位：百万円)

		2024年3月期	2025年3月期	
				前年増減
	営業活動によるキャッシュ・フロー	3,579	1,114	▲2,465
	投資活動によるキャッシュ・フロー	▲399	885	1,284
フリー・キャッシュ・フロー		3,180	1,999	▲1,180
財務活動によるキャッシュ・フロー		▲1,241	▲1,355	▲113
現金及び現金同等物の増減額		1,939	644	▲1,295
現金及び現金同等物の期首残高		562	2,501	1,939
現金及び現金同等物の期末残高		2,501	3,146	644

業績の推移

おいさを
生きるちからに。



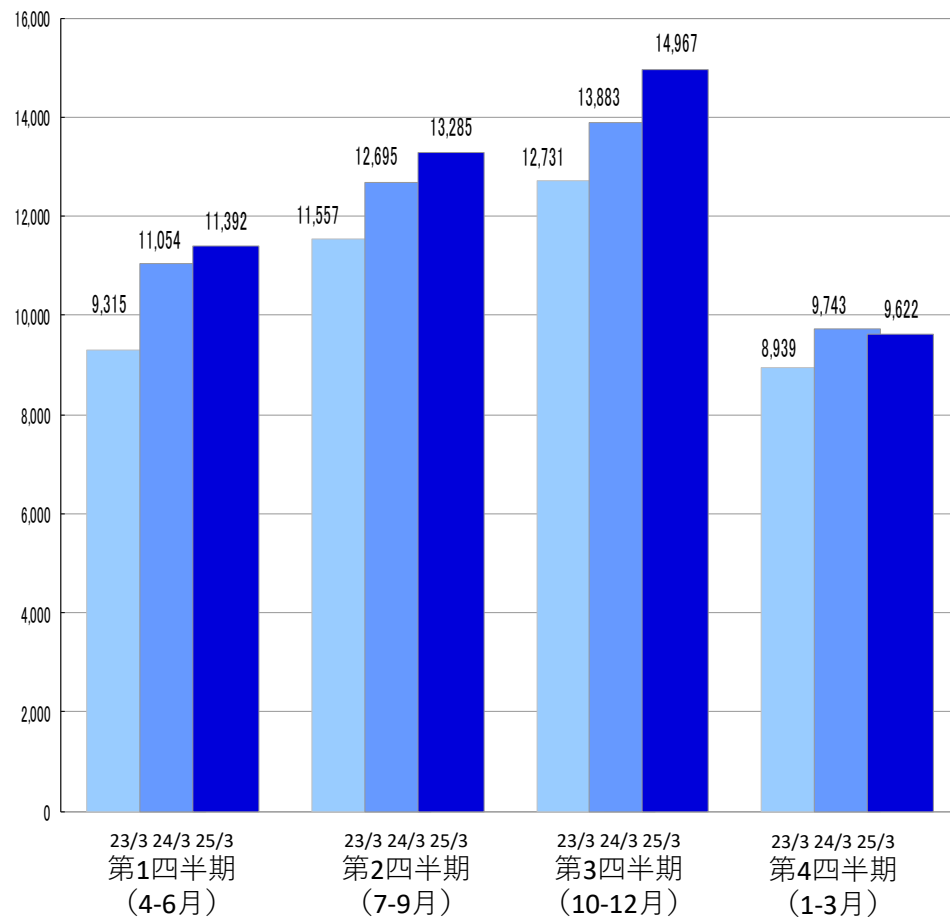
四半期連結業績の推移（売上高・営業利益）

おいさを
生きるちからに。

四半期売上高の推移

■ 2023年3月期 ■ 2024年3月期 ■ 2025年3月期

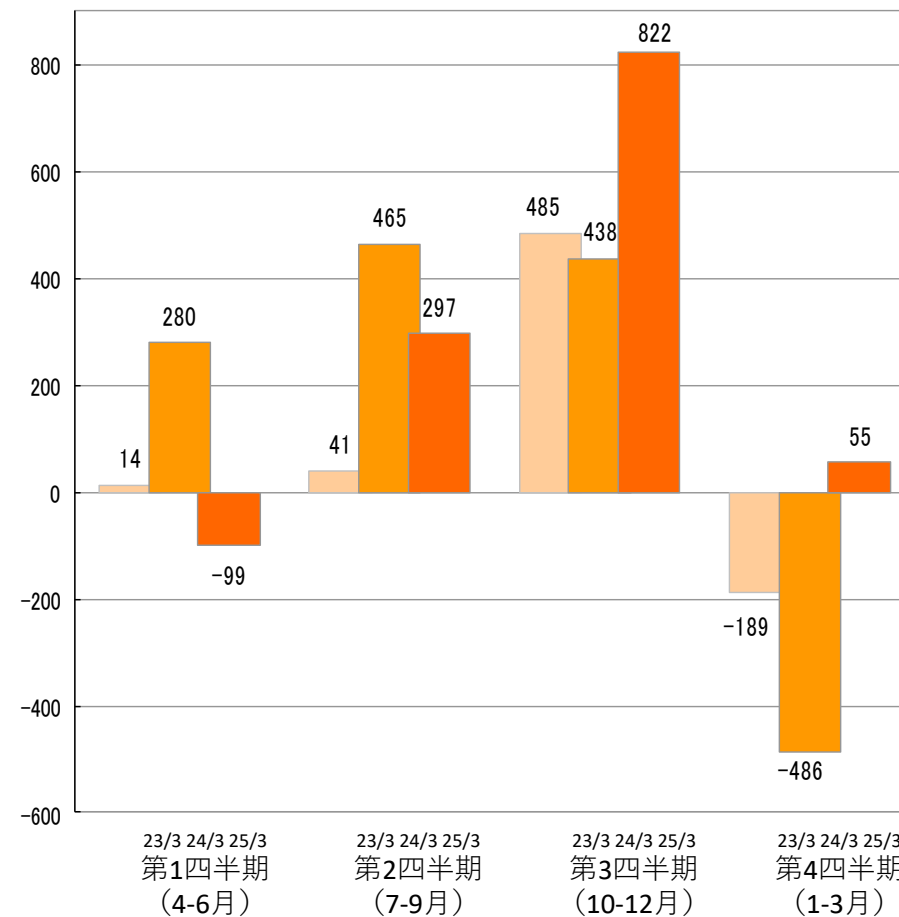
（単位：百万円）



四半期営業利益の推移

■ 2023年3月期 ■ 2024年3月期 ■ 2025年3月期

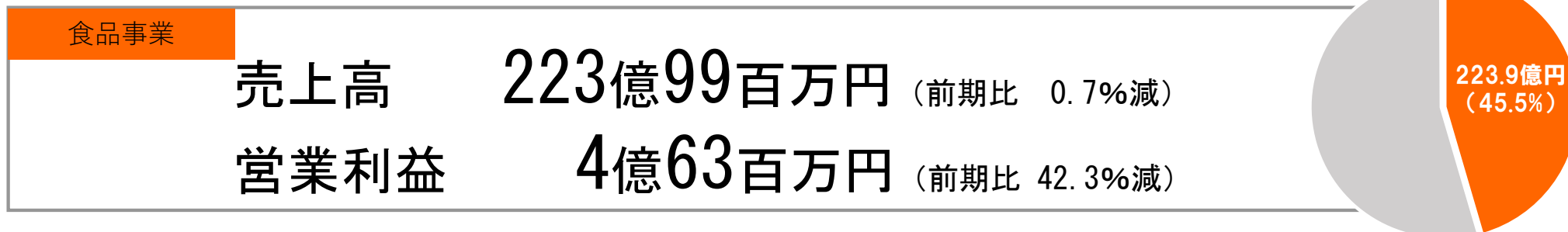
（単位：百万円）



セグメントの状況（食品事業）

おいしさを
生きるちからに。

概況：機能性素材エラスチンは価格改定により売上は伸びたものの、加工食品は魚肉ねり製品の海外向け販売数量が減少、ならびに肉類の販売数量が減少したことなどにより減収。
「霧島黒豚」の農場肥育成績悪化とそれに伴う食肉販売数量の減少等により減益。



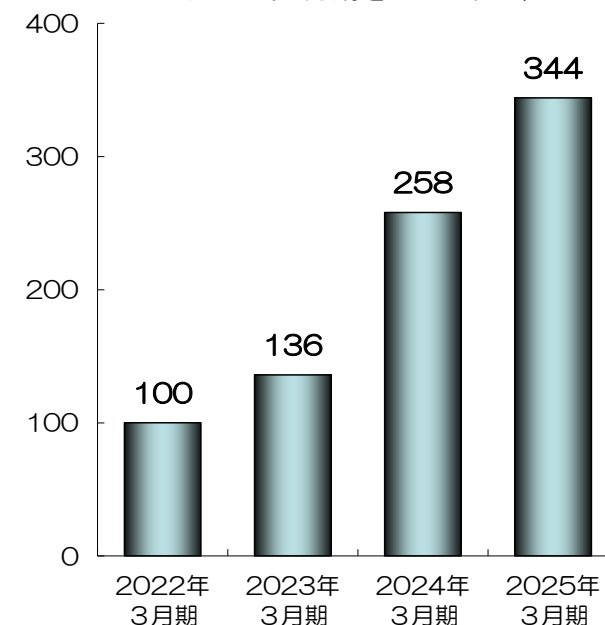
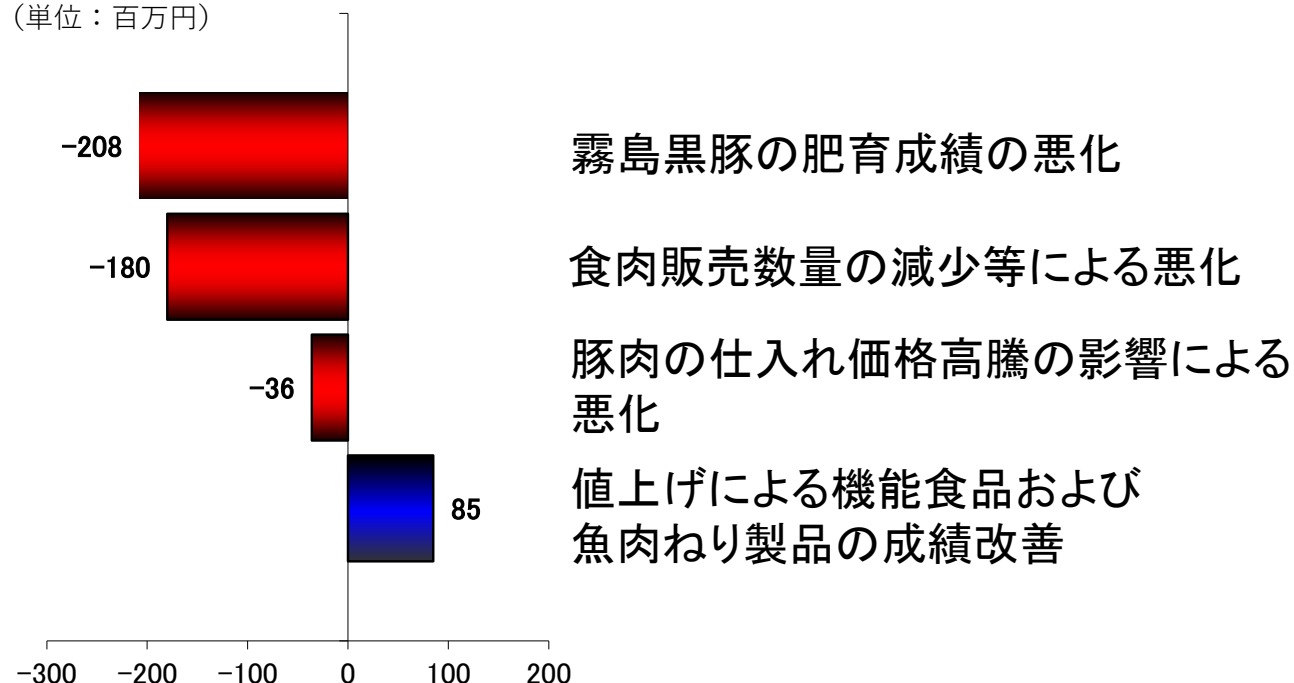
営業利益の増減要因

営業利益の減少 3億39百万円

アスコフィラン・ヒシエキスの販売数量推移

（2022年3月期を100とする）

（単位：百万円）



セグメント施策の進捗状況（食品事業）

おいしさを
生きるちからに。

食品事業

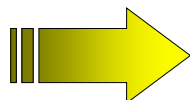
施策

状況

〈機能食品部門〉

機能性素材の海外強化

介護食 消費者向け

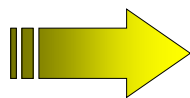


- ・北米展開に向けてGRAS認証申請中
東南アジア展開に向けたハラル認証取得(2025年4月)
- ・委託給食会社、配食会社へ販売強化(前期比 売上高9.4%増)
簡便調理品を2024年10月から販売開始

〈加工食品・食肉部門〉

自社ブランド展開

販売チャネル多角化

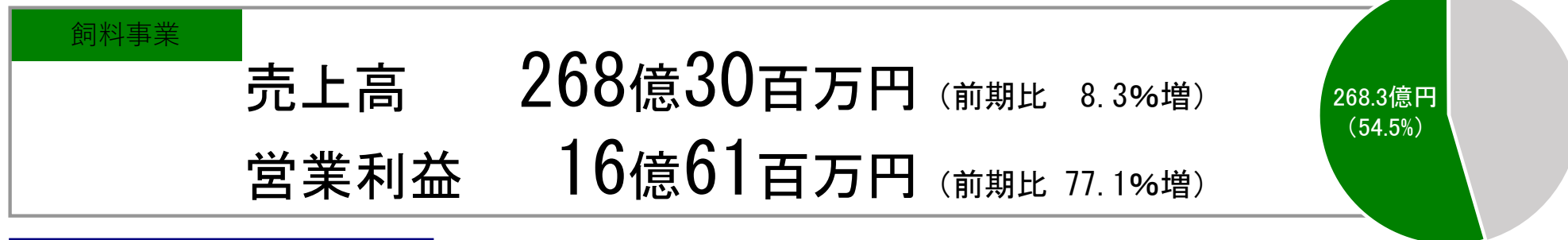


- ・時代に応じて自然の恵みから「生きるちから」を生み出すHayashikaneブランドの創出
- ・外食産業への販売強化(前期比 売上高10%増)
- ・ギフト拡販(前期比 売上高15%増)
- ・ふるさと納税市場への伸張(前期比 売上高63%増)

セグメントの状況（飼料事業）

おいさを
生きるちからに。

概況：原材料価格等の高騰に対応した価格改定や養魚用飼料の販売数量増加により増収。
養魚用飼料の販売数量増加および生産効率の改善により増益。

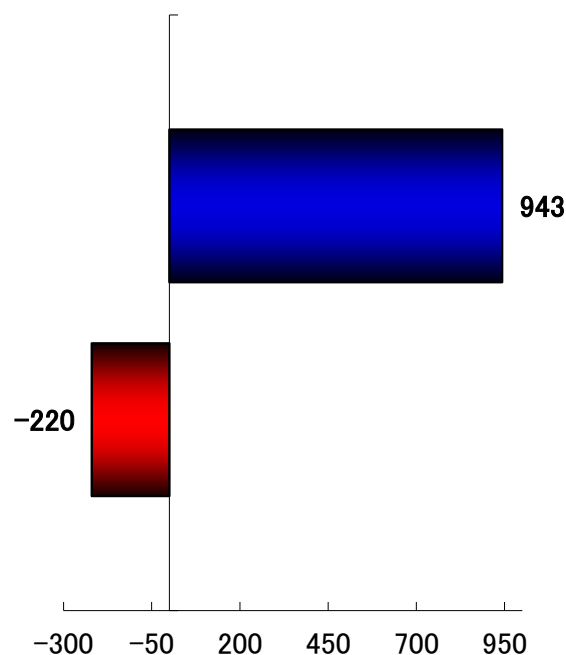


営業利益の増減要因

営業利益の増加 7億23百万円

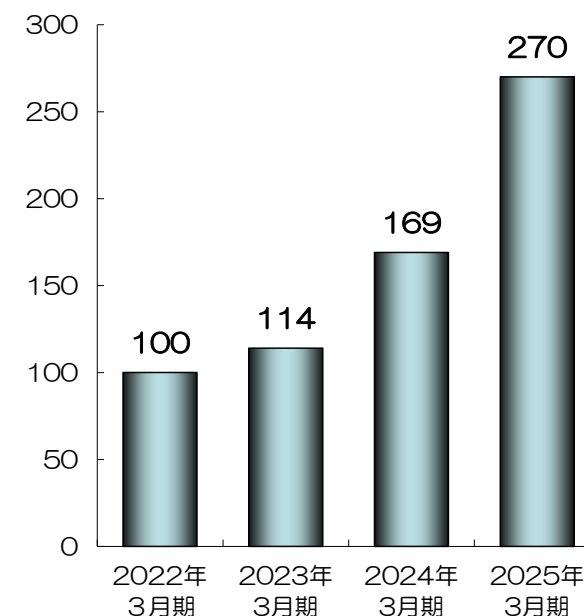
養魚用飼料の海外向け販売数量推移
(2022年3月期を100とする)

(単位：百万円)



養魚用飼料の販売数量増加
および生産効率の改善

水産物の販売数量減少および
相場の影響による悪化



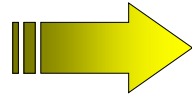
セグメント施策の進捗状況（飼料事業）

飼料事業

施策

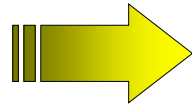
状況

大手養殖場へ直販拡大
(国内)



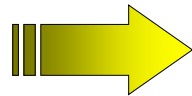
・魚病対策、低魚粉飼料など生産性向上の提案による拡販活動を行ったが、養殖尾数の減少および高水温・赤潮による餌止めにより販売数量減少

Hayashikane品質の
世界販売拡大(海外)



・パートナーシップ強化により養魚用飼料の海外向け販売数量増加

マーケティング機能強化



・難治性魚病であるトラフグのやせ病対策(特許取得)、マダイのエドワジェラ症対策(特許申請中)の開発で魚病の感染拡大を防ぎ、ユーザーの生産性向上を目的に訪問診療を実施中

連結損益計算書

おいさを
生きるちからに。

(単位：百万円)

	2024年3月期		2025年3月期		前年増減		主な要因
	実績	売上高比	実績	売上高比	実績	売上高比	
売上高	47,376	100.0%	49,267	100.0%	1,891		投資有価証券売却益432百万円
売上原価	42,176	89.0%	43,605	88.5%	1,428	▲0.5%	
販売費及び一般管理費	4,501	9.5%	4,586	9.3%	84	▲0.2%	
営業利益	698	1.5%	1,076	2.2%	377	0.7%	
受取配当金	118		125		6		
その他	227		288		60		
営業外収益合計	346		414		67		
支払利息	93		98		4		
その他	37		28		▲9		
営業外費用合計	131		126		▲4		
経常利益	913	1.9%	1,363	2.8%	450	0.9%	
特別利益合計	252		437		184		
特別損失合計	127		139		12		
税金等調整前当期純利益	1,039		1,662		622		
法人税等合計	290		606		316		
親会社株主に帰属する当期純利益	749	1.6%	1,055	2.1%	306	0.5%	

売上高・利益計画

おいしさを
生きるちからに。

(単位：百万円)

	2024年3月期実績	2025年3月期実績	2026年3月期計画
売上高	47,376	49,267	48,000
食品事業	22,566	22,399	22,960
飼料事業	24,767	26,830	25,000
その他の事業	42	38	40
営業利益	698	1,076	950
食品事業	802	463	1,150
飼料事業	938	1,661	930
その他の事業	32	27	30
消去又は全社	▲1,075	▲1,076	▲1,160
経常利益	913	1,363	1,150
親会社株主に帰属する 当期純利益	749	1,055	800

配当の状況

おいさを
生きるちからに。

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	—	—	15.00	15.00	129	17.5	1.2
2025年3月期	—	—	—	25.00 (普通配当15.00) (特別配当10.00)	25.00 (普通配当15.00) (特別配当10.00)	211	20.3	1.9
2026年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00		15.8	

※2025年3月期につきましては、政策保有株式の縮減に伴う投資有価証券売却益もあり、増益となりましたので、期末配当金は、従来予想である普通配当15円に特別配当10円を加え(増配)、1株につき25円とさせていただきます。

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

I R お問い合わせ先
I R サイト

林兼産業株式会社 経営管理本部 総務部
<https://www.hayashikane.co.jp/ir/>

TEL 083-266-0210

Hayashikane「ブランドパーパス」と「行動指針」について

おいさを、
生きるちからに。

当社グループは、中期経営計画『Challenge2026』の中で、新たにパーパスおよびコーポレートスローガンを策定いたしました。パーパスでは「生きる力」を育む食品を通じて、誰もが幸せに生きられる未来の実現を掲げ、コーポレートスローガンを「おいさを、生きるちからに。」と定め、当社の目指すべき長期的な方向性を明確に示しました。

スローガン

おいさを、生きるちからに。



パーパス

「生きる力」を生み出す食糧品メーカーである林兼産業は
食の可能性をひろげる商品を生み出すことで
誰もが幸せに生きられる未来をつくるために活動します。

行動指針



1.お互いを支えあい、共に成長します。

挨拶とコミュニケーションは、明るい職場の原点です。お互いを支え共に成長することで、課題解決と価値創造に取り組みます。



2.自然の恵みと命に感謝し、生きる力を生み出します。

私たちの提供する製品は、自然の恵みを始め、豚や魚などの命を頂くことから始まります。私たちは「命への感謝」と「製造する責任」を持ち続けます。



3.健康と幸せな日常のために、変化し続けます。

当たり前の日常を維持するため、私たちは努力とチャレンジを怠りません。食の楽しさを通じて、社会に生きる力を提供します。



「生きる力」を生み出す食糧品メーカーである林兼産業は
食の可能性をひろげる商品を生み出すことで
誰もが幸せに生きられる未来をつくるために活動します。

おいしさを、生きるちからに。

